

### 回生病院泌尿器科課長

## 佐野雄芳氏

# 香川の医療最前線

700



★の・ゆづぽう 2015年徳島大医学部卒、岡山赤十字病院、香川県立中央病院、三豊総合病院を経て23年4月から現職。日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、手術支援ロボットの・ウィンチ)資格認定医。岡山県出身。34歳。

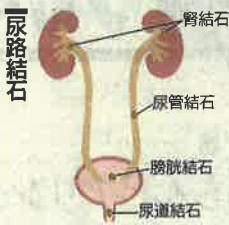
が隠れていることもある。再発率は5年間で50%近くになる。

尿管結石の対策は、一番の原因は水分摂取不足とされる。水や麦茶を1日1.5Lと摂取してほしい。治療終了後に意識が薄れる人が多いが、再発率も高いため日頃から予防に努めてほしい。注意したいのは、結石により尿がたまっていた腎盂・尿管内に感染を起した場合、腎盂腎炎や敗血症を発生するケース。高

ことを総称して尿管結石と呼ぶ。よく問題となるのが尿管結石で、血尿と激しい痛みが特徴。種類別で最も多いのはシュウ酸はコーヒーや紅茶、野菜類、ピーナツ、チョコレートなど、さまざまな食物に含まれる。カルシウムとシュウ酸はコーヒーや紅茶、野菜類、ピーナツ、チョコレートなど、さまざまな食物に含まれる。カルシ

食生活や水分摂取不足などが影響して発症する尿管結石。中でも尿管結石は、突然生じる腰から下腹部にかけての強い痛みで日常生活に大きな支障を来す。対処法や予防などについて、回生病院泌尿器科の佐野雄芳課長に聞いた。

尿管結石とは、腎臓から尿管、膀胱、尿道と、尿路に結石ができる



## 尿管結石

# 直径1センチで手術検討

## 十分に水分摂取し予防を

多いのはシュウ酸とカルシウムが尿中で結晶化したシュウ酸カルシウム結石だが、尿酸結石や遺伝性のシスチン結石などもある。シュウ酸とは、

ウムとシュウ酸をバランス良く摂取できれば腸で結合して便として排出されるが、偏ると結石になりやすい。コーヒーを飲む際にブドウ糖ではなくミルクを入

米化や生活習慣病などの影響で、患者数も50年前の約3倍に増えている。20代未満で発症する場合は、炎症性腸疾患や原発性副甲状腺機能亢進症など、他の疾患

個人差はあるが直径5mm未満の小さな結石は自然に排出される可能性が高いため、痛み止めなどを用的ながらしっかりと水分を取り、自然排出を待つ。1センチに近い結石になると手術を勧められている。体外衝撃波結石破碎術(ESWL)と、内視鏡の経尿道的尿管結石破碎術(TUL)の二つが主流だ。違いは、ESWLでは結石に約50

分間、約3千発の衝撃波を当てて砕き、自然排出を待つ。患者の体への負担は少ないが、結石が非常に硬かったり皮下脂肪が厚かったり、複数回行うこともある。TULは尿道から内視鏡を入れ、カメラで結石を確認しながらレーザーで破碎する。確実に結石を除けるが、全身麻酔や腰椎麻酔などが必要となる。当院では日とえ小さな結石でも、早く日常生活に復帰できるように可能な限り要望に応じ、早急な治療を行っている。

### 回生病院泌尿器科

尿管結石をはじめ泌尿器科疾患全般を取り扱う。近隣の医療機関とも連携して透析管理も手掛けるなど、幅広い診療を行っている。

所在地：坂出市室町3の5の28  
電話：0877(46)1011  
<http://www.kaisei.or.jp/>